

令和6年度 大阪府立伯太高等学校運営協議会 第1回議事録

令和6年6月8日（土）10：00～12：00

記録：小川

協議会委員参加者（敬称略）

西田 芳正 （大阪公立大学教授）
田中 恒子 （地域教育相談員）
山野 正広 （和泉市総務部 人権・男女参画室長）
原田 尚史 （和泉市立和泉中学校長）

学校教職員参加者

片山 造 （校長）
門内 順子 （教頭）
村田 幸正 （事務長）
小川 敏和 （首席・進路指導部長）
横山 創一 （生徒指導部長）

1. 校長あいさつ
2. 委員・校内事務局紹介 会長・副会長 選出（会長：西田 副会長：原田）
3. 令和6年度 学校経営計画
4. 進路状況報告
5. 授業見学
6. 生徒状況報告
7. 令和7年度使用教科書
8. 意見交換

[主な報告、質問、意見等] ◇は報告内容、○は質問、→は答え、●は意見や感想

進路状況報告

- ◇進学と就職の割合については昨年度との大きな変化はないが、ここ5年間を経年変化で見ると、本校に関しては就職から進学に3～5%程度数値が動いたように見られる。
- ◇進学全般に関して言えることは、A0 入試や推薦入試も含めて年内入試で決めようとする傾向が強くなってきたということ。
- ◇就職の求人に関しては、昨年度、思うように採用が叶わなかった企業も多く、また高卒求人を新たに始める企業も増えている。くわえて年々就職を希望する生徒数の減少もあるため、今年度もさらに就職活動においては難しい状況が続くと考えられる。
- 就職する生徒の理由、進学を断念したのかやりたいことがないのか？
→ここ最近では進学を断念し、就職する生徒が減ったように感じる、貸与奨学金が借りやすくなったことも理由として考えられる。
- ABCの評価を5段階の評定に換算していることについて、感じることはあるか？
→他校の様子も含めてにはなるが、これまでの2年間の経過で、評定が中央(2～4)に集中すると、評定平均は旧の学習指導要領のときと比べると、評定平均が下がっているのではないかと危惧している学校もある。
- 給与面に関して、企業のベースアップはどれくらいになっていますか？
→(感覚的なものにはなりますが、)ここ5年で平均して1万円くらいアップしているように感じます。

生徒状況報告

- ◇生徒指導方法・内容の見直しが世間でも話題になっている。教育庁からも時代にそぐわないことは見直しをするよう、指示が来ている。見直しの内容については、(他校も含めて)髪型のルールや男女交際についての記載、法律で許可されているものか、学校のルールとして不可にしていなかったか、(例えば自動二輪の取得禁止等)等について見直しを行っている。
- ◇生徒は頭髪指導については理解を示してくれている。学校によっては頭髪指導をなくした学校もあると聞いている。通学マナーについては、待ち合わせて集団で登校することが多く、マナーについて周辺からもご指摘をいただいている。制服の着こなしについては、男子がシャツを外に出す生徒もおり、継続した声かけをしている。
- ◇授業に関しては、私語と発言の線引きができていない子もおり、今後指導を続けていく。
- ◇遅刻指導については、「なぜ、遅刻することになったのか?」という根本を解決するよう、保護者との連携を大切にするよう変えた。ただ、課題を廃止することで、(他校も含めて)、遅刻が増えたと答える学校が増えた。

◇喫煙も電子タバコが世に出回るようになり、今後に向けて対策を考える必要があると感じている。

- 支援を要するケースやサポートを要するケースにも対応をしてほしい。
- 遅刻の多い生徒は、人のせいにしてたり、人生の目標をもっていない生徒の遅刻が多いように感じます。

使用教科書について

- 中学校では英語の発音等をデジタル教科書で進めている。
- 今後、紙の教科書は減っていくのか？
→音声データをQRコードに埋め込むなど、教科書の作り方が変わっているので、なくなることはないと思う。

意見交換

- 中学生へのアピールを大切にしてほしい。オープンスクールの印象や対応によって志望校を変更した中学生もいる
→課題研究の授業で企業とタイアップして制作したグッズをオープンスクールに参加した中学生に配付する。
- 中学校でも和泉府中駅前の商店街とタイアップして商品を販売したこともある。
- 私立の無償化の影響で中学生の4割が私立に行ったが、今後もこれが続くのか心配している。私立高校の話によれば、専願の生徒は増えたが、併願の戻りが減っているところもあるとのこと。
- 通信制高校の説明会に参加した際に、授業料等が高いこと等に心配を感じました。